

## 特集展示「みんな大好き！福島ねこづくし展」

2022年7月23日(土)～8月21日(日)

主催・会場：福島県立美術館 / 後援：川俣町教育委員会



1



2



図版 1 春日部たすく《猫曼陀羅》1958年 2 佐藤玄々《牝猫》1928年(横井美恵子コレクション) 1, 2ともに福島県立美術館蔵  
その他の図版 川俣町・猫稲荷神社の絵馬群より

## 【展覧会概要】

脈々と続く猫ブーム。どうして人は猫に惹かれるのでしょうか。

本展では、美術や文化に表された人と猫との気になる関係に注目しました。美術では、アーティストが猫の美と愛らしさをそれぞれの見方で表しました。一方、民間信仰では、養蚕が盛んな一部の地域で、鼠を駆除する猫を「猫神さま」として祀る習慣が生まれました。

二部構成の展示により、第一部では、当館の収蔵品から猫が題材となっている作品を約 30 点展示し、第二部では、民間信仰として川俣町の猫稻荷神社に奉納された猫の絵馬群をご紹介します。

アーティストによる猫の自由な表現と猫神さまへの庶民の信仰心、猫に対する双方の温かな眼差しを感じとってみてください。



## 第1章 見つけた！美術のなかの猫たち

当館収蔵品には、猫が登場する作品が約 30 点あり、日本画・洋画・版画・彫刻と複数のジャンルで表されています。猫の形を忠実に再現した彫刻や、逆に形をゆがめて描いた洋画や版画、ふわっとした毛並みを感じられる日本画など、猫のどの部分に注目したのかが作家によって様々だと分かります。

自分だったらどういう表現にしたいか考えてみながら、美術の中の自由な猫たちの姿をお楽しみください。



会津勝巳《叢苑》1928 年 福島県立美術館蔵



佐藤玄々《麝香猫》1954 年 福島県立美術館蔵



## 第2章 お願い！猫神さま 川俣町・猫稻荷神社の絵馬たち



美術とは異なるかたちで、猫の作品が生まれた例もあります。

養蚕が盛んだった福島県・川俣町には、鼠を駆除する猫を神として祀る猫稻荷神社が存在します。庶民が養蚕の成功を願って、主に明治から大正期に猫を描いた絵馬を奉納しました。素朴な表現のものが多いですが、上手な絵を見本にしたり、自己流に頑張って描かれたりしており、「猫神さま、お願い！」という庶民の思いが伝わってきます。

愛らしい絵馬たちの味わい深い世界をご覧ください。



川俣町・猫稻荷神社の絵馬群より

## 【関連事業】

### ●スライドトーク「福島の猫神と猫絵馬」

日時：2022年7月31日(日) 14:00-15:00

講師：石黒伸一朗氏（村田町歴史みらい館長）

会場：美術館講義室 \*聴講無料



### ●ワークショップ「うるしをみがいて作るピカピカ猫のブローチ」

うるしがぬられた猫型のプレートをみがいてブローチを作るワークショップ。  
プレートをみがくと模様とツヤが出てきます。どんな色が出てくるかは楽しみ！  
ピカピカでツヤツヤの自分だけのブローチを作りましょう。

※うるしとは木の樹液からできた塗料です。

日時：7月30日(土) ①10時30分～12時 ②13時30分～15時

会場：当館実習室

対象：各回、小学生から大人まで8名程度

(小学2年生までは保護者同伴)

講師：平井岳氏（漆芸家）、綾子氏（漆芸家）

材料費：1,000円

申し込み締め切り：7月23日(土) ※先着順



## 【展覧会情報】

●会場・会期 福島県立美術館 2021年9月23日(木・祝)～11月23日(火・祝)

●開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

●休館日 毎週月曜 ※祝祭日翌日の8月12日も開館します。

●主催 福島県立美術館

●後援 川俣町教育委員会

●観覧料 本展は常設展料金でご覧いただけます。

◇一般・大学生 280円 (20名以上の団体220円)、高校生以下無料

※8月21日は県民の日のため、観覧料無料

※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は無料(身障、療育手帳については第1種、保健福祉手帳は1級の場合、付き添いの方1名も無料)

●問合せ先 福島県立美術館 〒960-8003 福島市森合字西養山1番地 TEL 024-531-5511

広報用画像をご希望の方は下記までご連絡のうえ、別紙の「画像使用申請書」にてお申し込み下さい。

福島県立美術館学芸課：橋本恵里 (eri.hashimoto@fcs.ed.jp) / 宮武弘 (miyatake.hiroshi@fcs.ed.jp)

◆本展広報用素材または取材をご希望の方へ  
必要事項をご記入のうえ、右記までご返信ください。

FAX : 024 - 531 - 0447

福島県立美術館 橋本宛

御社名 : \_\_\_\_\_

ご住所 : 〒 \_\_\_\_\_

E-MAIL : \_\_\_\_\_

ご担当者名 : \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

掲載媒体名 : \_\_\_\_\_

種別 : TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー ネット媒体 その他 ( \_\_\_\_\_ )

取材をご希望の方は、ご記入ください。

取材希望日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 放送日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時

◆画像をご希望の方は下記の「作品画像、取扱に関する規定」を承諾のうえ、ご希望の番号に☑してください。

【作品画像、取扱に関する規定】

- 画像には必ず下記クレジットを必ず入れてください。
- 1, 2 の作品は全図でご使用ください（トリミング、文字乗せは不可）。
- 借用した画像等は、申請時の目的以外には使用しないでください。
- 画像データは、使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供は固くお断りします。
- 画像が第三者に無断で利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- 事前確認のため、校正ゲラの段階で原稿を下記までお送りください。

ご希望の番号に☑してください



クレジット表記

- 1 春日部たすく《猫曼陀羅》1958年 福島県立美術館蔵  
□2 佐藤玄々《牝猫》1928年 福島県立美術館蔵  
□3 □4 □5 □6 3~6は川俣町・猫稲荷神社の絵馬群より

校正ゲラ、掲載誌（紙）等の送付先（お問合せ先）

〒960-8003 福島市森合字西養山 1 福島県立美術館

TEL: 024-531-5511 FAX: 024-531-0447

担当: 橋本恵里 (eri.hashimoto@fcs.ed.jp)